




If you're having trouble viewing this email, you may [see it online](#).

Share This:   



the
Williams
INSTITUTE

プレスリリース
即時配布
2013年9月25日

連絡先:

ローラ・ロドリゲス (Laura Rodriguez), lrodriguez@rabengroup.com, (310) 956-2425

ブレンダ・アレドンド (Brenda Arredondo), barredondo@rabengroup.com, (202) 587-4945

新しい報告書によると推定 325,000 人の米国在住アジア系および太平洋諸島系人が自分自身を女性同性愛、男性同性愛、両性愛、性転換者 (LGBT) としている。

約 33,000 人のアジア系および太平洋諸島系米国在住の人々が同性の同棲者である。

ロサンゼルス-

米国在住のすべてのアジア系および太平洋諸島系成人の 2.8% は自分自身を女性同性愛、男性同性愛、両性愛性転換者 (LGBT) としている。これは、ウィリアムズ研究所の公共政策研究フェロー

アンジェリキ・カスタニス (Angeliki Kastanis) とウィリアムズ上級学者ゲリー J. ゲーツ (Gary J. Gates) 著、” LGBT アジア系および太平洋諸島系人と同性同棲者” と題する最近の調査で明らかにされたものである。

全国的には、推定 325,000 人のアジア系および太平洋諸島系 (API) LGBT の人達は LGBT 以外の同人種の人達と比べて雇用率も学歴も低い。

全体的には、33,000 人の API 同性同棲者達はより良い状態にあるが、カスタニス氏に

よると

「詳細なデータ分析では、太平洋諸島系人ハワイ原住民、女性の同性同棲者、両者が API であるか子持ちのカップルなど、弱い立場にある LGBT サブグループの存在が明らかとなる。これらのグループは、健康保険加入率が低く、学歴が低く、米国非市民の率が高く、失業率も他の API カップルと比較して高い傾向がある。」

同性同棲カップルの API 系の人達は、一般人口中で API 系の人達の比率が高い地域に居住し、就職する傾向がある。API 系の同性同棲カップルのうち 1/3 はカリフォルニア、ハワイ、ニューヨークに住んでいる。

API 配偶者またはパートナーを含んでいる同性同棲カップルのうち 1/4 以上 (26%) は子育てをしていて、これらのカップルは子持ちの異性 API カップルと比べて平均世帯収入が 20%以上低いと、経済的に弱い状態を示している。

「これらの結果によると、API 同性カップルは、両方とも異性カップルと比べて大学卒である傾向があるが、子育て中の API 同性カップルは同様な異性カップルと比べて学歴が相当低く、それが彼らの経済的に弱い状態原因の一つとなっている」とゲーツ氏は述べている。

API 同性カップルは API 異性カップルと比べて米国生まれである傾向が高い (35%対 13%)。米国外で生まれた API 同性カップルの出身国のうち最大の 3 国はフィリピン、ベトナム、台湾である。API 同性カップルは API 異性カップルと比べて米国市民である傾向がある (81%対 68%)。API 同性カップル中 5 組のうち 1 組は 2 国籍 (一人は米国市民でもう一人米国市民でない) である。さらに、子育て中の API 同性カップルのうち 1/4 は、米国市民でない配偶者を少なくとも一人持っている。

他の重要な傾向としては次のものがある。

- LGBT API 成人は、非 LGBT API 成人と比べてより高い失業率がある (11%対 8%)。
- 子育て中の API 同性カップルは、同様な API 異性カップルと比べて二人ともが大学生である率が低い (20%対 43%)。
- LGBT API 成人は非 LGBTAPI 成人比べて大学学位を終了した率が低い (それぞれ 42%対 59%) 。
- API コミュニティ中で、学歴は部分人口間で相違がある。同性カップルのうちアジア系の人達の大学卒は、PI/NH 人と比べて 2 倍以上である。アジア・インド、台湾、パキスタン系の人達の学歴は高いが、ラオス、モン族、カンボジア、およびハワイ系の人達の大学卒業率は低い。

- API 男性同性カップルの平均年収は、API 女性同性カップルのそれと比べて 25,000 ドル以上も高い。APII 女性同性カップルの平均世帯収入は、API 異性女性同性カップルのそれと同様である。

この報告書では、Gallup Daily 追跡調査を利用して、LGBT であると明らかにしている成人の特徴を考慮の対象としている。2008-2010 年度米国コミュニティ調査に基づき、結婚している同性カップルと結婚していない同性カップルの特徴を考慮の対象としている。両調査とも、質問に応じてその人種をアジア系、ハワイ原住民、または太平洋諸島系米国人であると明らかにした回答者を対象としている。

このプレス・リリースはマンダリン語でも提供されている。

[詳細に関してはここをクリックしてください。](#)

###

ウィリアムズ研究所は、性的オリエンテーションおよび性別アイデンティティー法律および公共政策に関する厳密かつ独立した研究を行うために専念する研究所である。UCLA法学院の全国的シンクタンクであるウィリアムズ研究所は、実社会に直接関係する高品位の研究を生み出し、その成果を様々な教育プログラムとメディアを通じて裁判官、議員、弁護士、その他の政策立案者、および公衆に提供している。詳細に関しては、<http://williamsinstitute.law.ucla.edu/>を開かれない。

The Williams Institute at UCLA School of Law Box 951476 | Los Angeles, CA 90095-1476 US

本メッセージにはウイルスなし。

AVG - www.avg.comで点検。

バージョン 2012.0.2242 / ウィルス・データベース: 3222/6214 -リリース日付:
10/01/13